

給付制奨学金を創設し、無利子奨学金の拡充を求める意見書の

提出に関する請願

【請願要旨】

現在、日本の国立大学の初年度納付金は約80万円、私立文系大学なら約130万円です。世界一高い学費とともに、貧弱な奨学金制度のもとで、私立大学だけでも年間1万人の学生が中途退学を強いられ、受験そのものや、合格後の進学をあきらめる高校生が後を絶ちません。卒業までの数百万円の学費をアルバイトで補おうとして、連日の長時間勤務のために学生生活に支障きたすケースも多発しています。

貸与制奨学金は、卒業後に数十年間の返済が待っています。有利子奨学金は最大年利3%の利子が生じ、貸与額300万円であれば85万円、1000万円であれば360万円もの利子負担になるため、結婚や子育てにも支障をきたします。

町田市内には8つの4年制大学をはじめ、多数の短大・専門学校も存在します。その中には、卒業年次後半の学費が払えず、就職が決まった人を含めて、必要な単位を取得した学生が一度に20人も除籍になった大学もあります。

「学費と生活費を稼ぐために深夜までコンビニで働いたが必要額に届かず、2年生進級時に退学することに」「奨学金という『借金』を避けるためにアルバイトづけ。授業に出られずに単位を落とした」…町田市内の学生からも、切実な声が次々に届いています。

先進国(OECD加盟34か国)の中で、高等教育の学費が無償でなく、国の給付制奨学金もないのは日本だけです。「お金がなくては学べない」という現状は、若者の未来を閉ざすばかりか、能力のある若者が埋もれてしまい、日本社会の大きな損失につながります。

政府は、高校生・学生の切実な声に耳を傾け、先進国で当たり前となった給付制奨学金を創設してください。無利子奨学金を受ける資格がありながら有利子枠を利用せざるをえない人が4万人もいる現状を早急に改め、無利子奨学金を拡充してください。

町田市議会は、上記の内容で国に対して意見書をあげてください。

【請願項目】

- 1、日本政府に対して、給付制奨学金を創設し、無利子奨学金の拡充を求める意見書を提出してください